

アフリカの 鬼ごっこ!?



マダガスカル
から直送

クバーラ



クバーラは、青年海外協力隊のマダガスカル隊員が持ち帰った、アフリカに古くから伝わる、鬼ごっこのようなゲームです。小・中学校や子供たちの集まりでの活動に主眼を置いた国際理解教育プログラムです。



KOBARA
Lalaoni MADAGASIKARA

なぜクバーラなの？

クバーラは、アフリカ マダガスカル で古くから伝わり親しまれてきた伝統的な遊び、鬼ごっこのようなゲームです。青年海外協力隊でマダガスカルに赴任した隊員が持ち帰り、(特活)九州海外協力協会で指導しています。適当なスペースさえあれば、屋内でも楽しめます。特別な道具も必要ありません。ルールはとてもシンプルですが、作戦を立てて仲間と助け合いながらゴールを目指す事や、瞬時に判断して臨機応変に行動する事など、現代の子供達が体験する事が少なくなっている「みんなと協調して身体を使って遊ぶ」という体験が盛り込まれています。

途上国での遊びは、シンプルで直感的です。難しい理屈もありません。必要最低限のルールだけが決まっていて、そのほかに必要なのは想像力と楽しむ力だけです。未知なるゲーム「クバーラ」の経験は、はじめは戸惑いや協調性の不足から小さな問題も発生します。しかし、子供たちの柔軟な考え方と行動力で行動は変わり、どんどん上手になっていきます。



日頃、大人や授業等から情報を得て行動する事に慣れている子供たちにとって、この未知なる経験は「だれも知らない」「自分たちで問題を乗り越えていかなければいけない」経験を楽しいゲームを介して「自ら発見し、学べる」絶好のチャンスだと言えます。この「クバーラ」を通して異文化をより身近に感じることで、異文化理解への思考の柔軟性をも育みます。ゲームの進行や指導には青年海外協力隊経験者があたります。子供たちの多様性を認める姿勢でゲームを楽しく展開します。

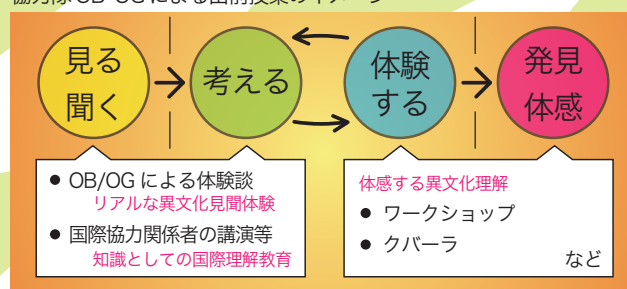
出前授業 + クバーラ = 楽しい異文化体験学習

これまで各種学校で多数の実施実績のある、協力隊経験者による出前授業(2014年度実績、30件、九州圏内)に、クバーラやワークショップを組み合わせる事で、より深くリアルな、異文化の思考の多様性を体験できます。

学校や地域の集まりなどでクバーラを体験してみませんか。

協力隊経験者による論理的な国際理解授業とワークショップ等による体験型授業との組み合わせで、楽しく能動的な国際理解の授業を展開します。講座の進行は、途上国での活動経験を持つ、経験豊かな協力隊OB・OGが担当します。一般的な国際理解をテーマにした内容から、教育・文化・各種専門性を含んだ内容までご要望に応じて派遣する講師を決定いたします。ご希望の内容については(特活)九州海外協力協会までお尋ねください。詳しいご希望内容を伺い対応させていただきます。

協力隊OB・OGによる出前授業のイメージ



(特活)九州海外協力協会について

(特活)九州海外協力協会では、学校等での国際理解教育のツールとして、授業のなかで日本以外の国の事を学習できる機会を提供し、また、身体を使って異文化を体験できる機会を提供しています。

青年海外協力隊OB・OGたちは、協力隊での活動の中で、身を以て多様な異文化理解の必要性を実感しています。教室で頭で考えるだけでは得られない、隊員それぞれが体験した、より実践的な異文化社会環境への対応経験を、分かり易く体験してもらうためにそれぞれの隊員経験者が工夫し、さまざまなプログラムを企画・実践しています。このクバーラもそのような経験から考案されたプログラムのひとつです。

(特活)九州海外協力協会は、このような志を持つOB・OGたちの日本国内での活動を支援しています。出前講座などでは、協力隊の活動経験の報告の場を提供しています。このクバーラのような遊びやワークショップなどを交えて途上国を伝える活動を行っています。

詳しいクバーラの情報はこちら

クバーラホームページ <http://www.kobara.jimdo.com>